

太枠内の項目（提出日、住所、氏名（フリガナ）性別、電話番号、生年月日を全て記入してください。

必ず捺印をしてください。

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

第五十五号の五様式（附則第二条の四関

平成 27年 4月 1日	湧別町長 殿	整理番号	
住所	〒 〇 〇 〇 市1-2-3	フリガナ	ウケツ 知
		氏名	湧別 太郎 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>
電話番号	- -	性別	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">男</span> 女
		生年月日	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">昭</span> ・大平

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

- (注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- (注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

寄附をした年月日と寄附金額を記入してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
平成 27年 4月 1日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
- (2) 地方団体に対する寄附金について、当該寄附金に係る申告書の提出（当該申告書の提出が住民税に課税の申告書に併せて行われる場合を除く。）を要しない者

ふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で所得税や住民税の申告を行う必要がない場合、チェックしてください。

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者

ワンストップ特例申請で寄附をする市町村数、年間で5市町村以下であると見込まれる場合、チェックしてください。

平成 年寄附分	市町村民税 道府県民税	寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書
住所		受付日付印
氏名	殿	

受付団体名 北海道紋別郡湧別町